

# 1 水の循環 じゅんかん

水のふるさとは、高い空にある大きな雲です。雲はやがて雨を降らせる雲や、冬には雪を降らせる雲になり、山や野原、わたしたちの町に降ったときから、水の長い旅が始まります。

あまみず  
雨水や雪どけ水は、地面にしみこんで地下水になったり、せせらぎや小川となったりして旅を続けます。やがて、あちこちのせせらぎや小川は大きな川となり、海に流れていきます。

水は海で暖かい日ざしを浴び、暖められ蒸発して、水蒸気となって空に上がり、ふるさとの雲に帰ります。そして、また雨や雪になって地上に降ってきます。こうして水は終わりのない長い旅をくり返し続けています。

このことを「水の循環」といいます。

この「水の循環」の中で365日24時間休むことなく、水道は毎日の生活にたくさんのお水をおくり、下水道は汚れた水をきれいにして自然に返しています。

わたしたちの家では、蛇口をひねるといつも水が出ます。この水はどこから来たのでしょうか？

そして、わたしたちが使って汚れた水は、どうなるのでしょうか？



とよがわみかみ ふきん  
豊川三上付近



しんしろ せんまいだ  
新城市千枚田



じゅんかん もど く かえ  
「循環」とは、ひと回りして、元に戻り、それを繰り返すこと。

語句の説明は、国語辞典調べ



水は、  
じゅんかん  
循環しているんだね。

